

(案)

第4次国有林野施業実施計画書

(上越森林計画区)

計画期間 自 平成23年4月 1日
至 平成28年3月31日

関東森林管理局

目 次

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域	1
2 施業群及び生産群の名称並びに区域，伐期齢又は回帰年、上限伐採面積 又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごと の更新方法及び更新量	1
（1）伐採造林計画簿	1
（2）水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別面積等	1
（3）水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別の上限伐採面積	2
（4）資源の循環利用林における生産群別の面積等	3
（5）資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量	3
（6）伐採総量	4
（7）更新総量	5
（8）保育総量	5
3 林道の整備に関する事項	6
4 治山に関する事項	7
5 保護林名称及び区域	8
6 レクリエーションの森の名称及び区域	9
7 その他必要な事項	1 4
（1）施業指標林、試験地等	1 4
（2）フィールドの提供	1 4
（3）その他	1 5

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別添伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水土保持林（水源かん養タイプ）における施業群別面積等

（単位：面積ha、伐期齢 年）

施業群	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
スギ 長伐期	153.27	伐採面積の縮小、モザイク的配置	100
スギ 分散伐区	22.14	〃	60
ヒノキ 長伐期	—		—
ヒノキ 分散伐区	—		—
ヒノキ枝打分散伐区	—		—
アカマツ 長伐期	—		—
アカマツ 分散伐区	—		—
カラマツ 長伐期	—		—
カラマツ 分散伐区	—		—
スギ 複層林	93.39	伐採面積の縮小、モザイク的配置	60～120
ヒノキ 複層林	—		—
その他 複層林	—		—
天然生アカマツ分散伐区	—		—
ぼう芽 分散伐区	—		
天然林漸伐分散伐区	16.34	伐採面積の縮小、モザイク的配置、 確実な更新	120
ブナ漸伐 分散伐区	360.69	〃	150
択伐	4708.04	(注)1による	回帰年は定めない
その他	4.31	(注)2による	定めない
施業群設定外	—		—
合計	5,356.35		

(注) 1 択伐施業群の伐採は標準伐期齢以上とし、水源かん養機能の発揮に配慮しつつ隣接林分の主伐、間伐時に併せるなど適時に行うものとする。

2 保護樹帯の伐採は、保護樹帯設定基準によるものとする。

(3) 水土保全林（水源かん養タイプ）における施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	上限伐採面積	摘要
スギ長伐期	8	
スギ分散伐区	2	
ヒノキ長伐期	—	
ヒノキ分散伐区	—	
ヒノキ枝打分散伐区	—	
アカマツ長伐期	—	
アカマツ分散伐区	—	
カラマツ長伐期	—	
カラマツ分散伐区	—	
スギ複層林	8	
ヒノキ複層林	—	
その他複層林	—	
天然生アカマツ分散伐区	—	
ぼう芽分散伐区	—	
天然林漸伐分散伐区	1	
ブナ漸伐分散伐区	12	
択伐	471	
その他	—	
施業群設定外	—	
合計	502	

(4) 資源の循環利用林における生産群別の面積等

(単位：面積 h a、伐期齢 年)

生産群	面積	生産目標等	伐期齢又は回帰年
スギ 大径材	—		
スギ 中径材	3.30	一般建築材 (24 c m)	60
ヒノキ 大径材	—	—	—
ヒノキ 中径材	—	—	—
ヒノキ 無節柱材	—	—	—
アカマツ 大径材	—	—	—
アカマツ 中径材	—	—	—
カラマツ 大径材	5.80	一般建材材 (22 c m)	80
カラマツ 中径材	—	—	—
スギ 複層林	—	—	—
ヒノキ 複層林	—	—	—
その他 複層林	—	—	—
天然生アカマツ中径材	—	—	—
ぼう 芽	—	—	—
天然林 漸伐	—	—	—
ブナ 漸伐	—	—	—
択伐	—	—	—
その他	—	—	—
生産群設定外	—	—	—
合計	9.10		

(注) 1. 「生産目標等」の数値は、生産目標とする胸高直径である。

(5) 資源の循環利用林における生産群別の標準伐採量

当該森林計画区の「資源の循環利用林」は分収林であり、標準伐採量は定めないこととする。

(6) 伐採総量

(単位：面積ha、材積)

区 分		林 地					林地 以外	合 計	
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐 採 量	計			
水 土 保 全 林	国土保全タイプ	—	4,655 (53.41)	4,655	1,466	31,293	—	31,293	
	水	スギ長伐期	—	4,433					4,433
		スギ分散伐区	—	—					—
	源	カラマツ長伐期	—	—					—
		スギ複層林	—	959					959
	か	天然林漸伐	—	—					—
		分散伐区	—	—					—
	ん	ブナ漸伐分散伐区	—	189					189
		択 伐	—	2,834					2,834
	養	そ の 他	—	—					—
		施業群設定外	—	—					—
全	小 計	—	8,415 (135.05)	8,415					
林	計	—	13,070 (188.46)	13,070					
と森 の林 共と 生人 林	自然維持タイプ	—	—	—					
	森林空間利用 タイプ	—	16,757 (340.98)	16,757					
	計	—	16,757 (340.98)	16,757					
環資 利源 用の 林循	スギ中径材	563	—	563	34	722	—	722	
	カラマツ中径材	—	125 (3.48)	125					
	計	563	125 (3.48)	688					
合 計		563	29,952 (532.92)	30,515	1,500	32,015	—	32,015	
年 平 均		113	5,990 (106.58)	6,103	300	6,403	—	6,403	

(注) () は、間伐面積である。

(7) 更新総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
人 工 造 林	単 層 林 造 成	—	—	—	—	—	—	2.11	2.11
	複 層 林 造 成	—	—	—	—	6.20	6.20	—	6.20
	計	—	—	—	—	6.20	6.20	2.11	8.31
天 然 更 新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	—	—	—	—	—	—	—
	ぼ う 芽	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		—	—	—	—	6.20	6.20	2.11	8.31

(8) 保育総量

(単位：h a)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資 源 の 循 環 利 用 林	合 計
		国 土 保 全 タイプ	水 源 かん養 タイプ	計	自 然 維 持 タイプ	森 林 空 間 利 用 タイプ	計		
保 育	下 刈	10.95	0.58	11.53	—	15.50	15.50	6.33	33.36
	つる切	2.82	5.60	8.41	—	—	—	—	8.41
	除 伐	2.54	12.77	15.31	—	3.05	3.05	—	18.35

3 林道の整備に関する事項

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
基幹	改良	杉野沢(杉野沢)	38、45、50、51	1,500	
		杉野沢(ニグロ川)	53、54、56	100	
		杉野沢(氷沢)	64	200	
		藤巻林道	20、22、23	300	
	小計	4路線		2,100	
その他	改良	杉野沢氷沢支線	36	100	
		杉野沢笹ヶ峰支線	64	100	
	小計	2路線		200	
合計	改良	6路線		2,300	

4 治山に関する事項

位 置 (林 班)	区 分	工 種	計 画 量
24、31、37、38、45、57、81、82、83	保安林の整備	本数調整伐	239ha
82	地すべり防止	そ の 他	1箇所
26、31、38、43、45、46、82、93、99、105、	保 安 施 設	溪 間 工	11箇所
26、27、31、82、93、99		山 腹 工	
合 計	保安林の整備	本数調整伐	239ha
	保 安 施 設	溪間工・山腹工	11箇所
	地すべり防止	そ の 他	1箇所

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

動植物の保護、遺伝資源の保存等を図ることを目的として、下記のとおり保護林を設定し、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護、保存を図っていくこととする。

種 類	名 称	新既 設別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
植物群落 保護林	犬ヶ岳ホン シヤクナゲ	既設	115.00	108口	犬ヶ岳～黒岩山の稜線でヒメコマツ等の点在する天然林と下層植生であるホンシヤクナゲ群落の保護。 健全な状態で維持されていることから、引き続き現状が維持できるよう管理することとする。
植物群落保護林計			115.00		
特定動物 生息地 保護林	蓮 華 ライチョウ	既設	974.82	100イ 102ニ ₂ ～ニ ₆	朝日岳～雪倉山～三国境～乗鞍岳等の連なる稜線に広がるハイマツ群落及び高山植物地帯を保全し、ライチョウ生息地を保護。 健全な状態で維持されていることから、引き続き現状が維持できるよう管理することとする。
	火打山周辺 ライチョウ	既設	826.74	11イ ₃ 13口 ₂ 41イ 42口 ₁ 44イ 49イ 93イ ₁₈	裏金山～焼山～影火打～火打山～雷鳥平の連なる稜線に広がるハイマツ群落及び高山植物地帯を保全し、ライチョウ生息地を保護。 健全な状態で維持されていることから、引き続き現状が維持できるよう管理することとする。
特定動物生息地保護林計			1,801.56		
合 計			1,916.56		

(2) 緑の回廊

該当なし

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	新既設別	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
自然休養林	笹ヶ峰	既設	2,200.67	<p>関川最上流に位置する地域で、標高約1,300m～1,900mの山岳地帯に設定。笹ヶ峰ダム上流部に接した区域は、隣接民有地の国民休暇村、笹ヶ峰牧場、笹ヶ峰ダム等と一体的な利用を図るものであり、森林浴、体力作り、研修の場として利用されている。</p> <p>笹ヶ峰ダム右岸に接する区域及びトクサ沢川上流部の区域は、一部カラマツ人工林を含むものの、大部分はブナ・ミズナラ等で構成され、優れた自然景観を形成しており、登山、自然探勝、森林動植物の生態観察等に利用されている。</p> <p>笹ヶ峰、夢見平の散策路の一部は安全で歩きやすい歩道として整備しており、「森林セラピーロード」としても認定されている。</p> <p>今後も景観に配慮した森林の整備、地元自治体との協力による施設や標識等の整備、入林者の安全に配慮した巡視の強化に努めることとする。</p>	<p>35に、ほ、と～ぬ、る₂</p> <p>36い～は₂、ほ、と、ち</p> <p>37い₁、い₂、は、ほ、ち～わ₁</p> <p>38い₂、に₁～と、ぬ、る₁、か、よ、そ～ね、ら、う～の₂、</p> <p>39は₁、は₂</p> <p>45い₂、は～わ₂、よ</p> <p>50い～は、ほ、り、る₁、わ、た、な～の</p> <p>57は～ほ、と～り、る₁～る₃、た、れ、つ、ね、ら</p> <p>64に、へ₈</p>	育成複層林施業
			<p>-----</p> <p>野外ポーツゾーン 365.33</p> <p>風致探勝ゾーン 1,835.34</p>		<p>-----</p> <p>35い～は₂、へ、る₁、わ、か</p> <p>36に₁～に₄、へ、り、ぬ</p> <p>37ろ、に、へ、と、わ₂～た</p> <p>38い₁、ろ、は、ち、り、る₂、わ、た～れ₃、な、む、お</p> <p>39い、ろ、に</p> <p>45い₁、ろ、か、た～そ</p> <p>50に₁、に₂、へ₁～ち、ぬ、る₂、か、よ、れ～ね、お</p> <p>52ろ</p> <p>57い、ろ、へ、ぬ、わ～よ、そ、な、む～う₂</p> <p>58い～は</p> <p>59い、ろ</p> <p>60い～は₂</p> <p>64い～は、ほ～へ₇、と₁～ち</p>	

種類	名称	新既 設別	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
自然 休 養 林	笹ヶ峰	既設			37イ ₁ 、イ ₂ 38イ 45イ 52イ 57イ	林 地 以 外
自 然 休 養 林 計			2,200.67			
自 然 観 察 教 育 林	菱ヶ岳	既設	93.65	菱ヶ岳西面に位置し、 上層はブナ・ミズナラ、 下層はタニウツギ・ヤマ ウルシ・オオカメノキ等 の広葉樹で構成された調 和のとれた階層構造を呈 している。 また、不動沢溪谷には、 不動滝、火炎岩等の奇岩 類が特異な自然景観を形 成している。	75に～へ	天 然 生 林 施 業
自 然 観 察 教 育 林			93.65			
森 林 ス ポ ー ツ 林	鏡池	既設	18.63	谷内川の落ち込みにあ る湖を中心とした区域 で、ミズナラ・ヤナギ・ サワグルミ等の天然広葉 樹林で、湖水との調和が 美しく、鏡池を望みなが らの林内散策等に利用さ れている。	114ち ₁ 、ち ₃ ----- 114イ	天 然 林 施 業 ----- 林 地 以 外
森 林 ス ポ ー ツ 林 計			18.63			

種類	名称	新既 設別	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	妙高山ス ポーツ林	既設	747.09	妙高山の東山麓、標高 約700m～1,800mに位置 し、積雪も多く雪質良好 で、地形は起伏に富み、 12月上旬～4月まで利用 できるスキー場を主体と し、地域内の温泉保養等、 四季を通じた利用が行わ れている。	29む ₂	育成単層林施業
					23ろ～と、か、よ ₁ 、 よ ₂ 、た～ら、う ₁ 25は ₂ 、に、へ、り ₁ ～わ、よ、た 27ぬ ₁ 、ぬ ₂ 、わ ₁ ～か、 れ 28ろ～り ₂ 、ぬ ₁ 、 か ₁ 、か ₂ 、た～そ ₂ 、 ね～む、お、ま、 ふ、え～て ₃ 、き ₁ 、 き ₄ ～ひ ₂ 29ち～わ、た～つ ₂ 、 む ₁ 、う ₁ ～や ₁ 、け、 ふ、え、あ ₁ 、あ ₂	育成複層林施業
					22う ₂ 、の ₂ 23い、ち～わ、よ ₃ 、 よ ₄ 、む、う ₂ 、う ₃ 25い～は ₁ 、ほ、と、 ち、か 27ち ₁ ～り、る、よ た、そ～う ₃ 28い、よ、そ ₃ 、つ、 う、の、く、や、 け、こ、あ、さ、 き ₂ 、き ₃ 、も 29と、か、よ、ね～ ら、や ₂ ～ま、こ、 て ₁ ～て ₃ 、さ～せ ₂ 30い～ほ、ぬ ₃	天然生林施業
					23イ ₁ ～ロ ₄ 25イ 27イ ₁ ～イ ₄ 、ハ 28イ ₁ ～イ ₅ 29ロ ₁ ～ロ ₃ 、ハ、ホ 30イ	林地以外

種類	名称	新既設別	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	妙高杉ノ沢 スポーツ林	既設	481.10	赤倉山の南山腹、標高約1,000m～2,000mに位置し、積雪も多く雪質良好で、変化に富んだスキーコースを有し、周辺民有地には宿泊施設が完備されており、初級者から上級者まで幅広く利用されている。	32い～は、ほ、ち、ぬ ₂ 、れ、つ、ら～う、お、く、ま 33ろ～ち 34ほ	育成複層林施業
					32に、へ、と、り、ぬ ₁ 、る～よ、そ、ね、な、の、や 33い、り～わ 34い～に、へ ₁ 、へ ₂ 、わ ₂	天然生林施業
					33イ～ハ ₂ 34イ、ロ	林地以外
ツ ポ ー ツ 地 域	菱ヶ岳ス ポーツ林	既設	170.86	菱ヶ岳の北面、標高約700m～1,100mに位置し、積雪も多く雪質良好で、地形の変化に富み、12月～3月までの利用が可能なスキー場であり、民有地と一体となって利用されている。	74に、へ	育成複層林施業
					74い～は、ほ、と～る ₂	天然生林施業
					74イ～ト	林地以外
野外スポーツ地域計			1,399.05			

種類	名称	新既 設別	面積 (ha)	選 定 理 由	位 置 (林小班)	備 考
風 致 探 勝 林	蓮 華	既設	42.83	コメツガ・ブナを中心とする原生的な森林と高山植物に富む。またレクリエーションの森区域内に蓮華温泉もあり、自然探勝、登山、ハイキング、湯治等に利用されている。	101ほ、へ 102い ₂ 、	天然生林施業 ----- 林地以外
					101イ 102イ ₁ ～ロ	
風 致 探 勝 林			42.83			
そ の 他	黒 沢 ヒュッテ	既設	0.10		16イ	林地以外
	大 谷 ヒュッテ	〃	0.10		31イ	〃
	高 谷 池 ヒュッテ	〃	0.06		42イ	〃
	カモシカ 展 望 台	〃	0.01		101ニ	〃
そ の 他 計			0.27			
合 計			3,755.10			

7 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
展示林	五万戸スギ展示林	平 20.7	1.77	24う ₁	「美しい森づくり推進国民運動」の推進を図るため、民有林における間伐等の森林整備を促進し、具体的な森林施業の紹介やPRを行う。
展示林計			1.77		
試験地	妙高・幕の沢 雪崩試験地	平 14.8	126.60	22の ₁ 、の ₂ 、 う ₃ 、う ₄ 23う ₁ 、う ₂ 、 の、お、く	雪崩の発生を検知し、雪崩の発生条件を解明する。
試験地計			126.60		

(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備考
114ち ₁ 、ち ₃ 、ち ₄	ふれあいの森	鏡池ふれあいの森 44.12 ha 平成12年3月に設定 上越市が主体的に活動実施
22よ ₁ ～よ ₃ 、そ、つね、な、 ら、む、う ₁ 、う ₂ 24い ₁ ～み ₃ 57ろ～ぬ、る ₂ 、る ₃ 、よ～れ 64ろ ₁ ～に、へ ₁ ～へ ₈	遊々の森	妙高遊々の森 455.02 ha 平成18年1月に設定 独立行政法人国立青少年教育振興 機構国立妙高青少年自然の家が主 体的に活動を実施
45い ₁	ミレニアムの森	2.17 ha 平成12年9月に設定 一般公募により活動実施
72ろ 73へ 74る ₂ 78ら 79ろ 80へ ₂ 81そ ₁ 、そ ₂ 83ら 85こ、か	多様な活動の森	関田トレイル 平成16年10月に設定 NPO法人信越トレイルクラブが主 体的に活動を実施

(3) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 (ha)	施 業 方 法
27ろ～と 28ぬ ₂ ～る ₇ 、わ ₂ 29い、に、へ 34ち 81い ₂ ～は、ほ、と、ぬ ₁ ～ぬ ₃ 、る ₂ 、 か、ね、う ₃ ～う ₅ 、う ₈ 82ろ ₁ 、ろ ₂ 103い、ろ		育成複層林施業
27い ₂ 28り ₃ 、る ₈ 、わ ₁ 29ろ、は、ほ 30へ～ぬ ₂ 、る～か 34と、り～る 73い～へ 75い～は 81い ₁ 、に、へ、ち、り、る ₁ 、わ、 よ～つ、な～う ₂ 、う ₆ 、う ₇ 、の ₁ 、 の ₂ 82い 100い 101い～に 102い ₁ 、い ₃ 、に、ほ 103は、に		天然生林施業
29イ、ハ、ニ 75イ 101ロ、ハ 102ハ ₁ 、ハ ₂ 103イ ₁ 、イ ₂		林地以外
計	1,273.57	

(注) (1)、(2)の箇所を除く。